

コンセプト 『HANEDA “えん” PARK～いにしえと今、そして未来を“えん”でつなぐ～』

Co-Design! ～みんなでデザインしよう～

Full	充実した活動が可能な公園、“はじ”から“はじ”まで使える
Flat	全てが分け隔てなく交流できる、平坦な空間
Flexible	柔軟な運営がなされる公園、時間帯や季節に応じた利用

区が目指す3つの方向性	1 気軽にスポーツのできる環境づくり
	2 人々の交流機会の創出
	3 歴史や文化の発信
	4 災害への備え
	5 羽田イノベーションシティ等との連携

『3つの“えん”を土台に利用者が主役となるCo-Design!の公園』



－ 区民が世界に誇れる公園を、みんなでCo-Design!する土台となる3つの“えん”－

本グループの強み

羽田・稲谷、
大田区企業・団体との強固な絆

羽田でのまちづくりのノウハウを持つ本グループのネットワークを最大限活かし、この地域の素晴らしい文化・産業を本公園に結集するとともに、文化・産業の発展にも寄与します。

HICityとの一体性を
活かした公園づくり

HICityのコリドーと園路を結ぶことで生まれる“円”は、HICityでの知見・ネットワークを公園に呼び込むだけでなく、羽田のまちをはじめとした周辺のヒト・モノ・コトを惹きつけます。

実績ある公園“育て”のプロが集結

公園に来訪する“いる”、体験・活動に参加する“する”、公園活用を主体的に考え行動するようになる“なる”。これらを循環させ、利用者のサークルプレイスとなり、公園活用の幅を広げます。

ゾーニング 『周辺環境に配慮し、公園全体をつかいこなす!』



「静のゾーンと動のゾーン」

目的や過ごし方の異なる多種多様な利用者のすべてに快適な空間を提供するために、穏やかな杜や交流の場、のんびり時間を過ごす広場やのどかな畑の風景に浸る“静”のゾーン。新たな体験、スポーツや遊び、食事等のアクティブな活動を促す“動”のゾーンと位置づけました。

「地域とつながる2つの軸」

“花の輪”は、園内のメイン動線として全ての公園機能をつなぎ合わせ、畑が見られる風景、新しい体験や遊び、人同士の交流を通じて新たな“えん”を作ります。“時の路”は、羽田のまちとHICityをつなぎ動線として、古今の羽田をつなぎ合わせます。

整備方針『ワクワクする場所で多様な“えん”を結ぶ』



ポイント 設計段階から公園運営を見据えた住民参画

- 公園で実現したいこと、公園ルールの策定等を住民参画のもと実施することで、“ともに”公園をつくります。
- 公園の認知度向上に寄与するとともに、開園後のイメージを膨らませるきっかけをつくります。

地域の特性と調和した4つのエントランス

- 地域からのメインエントランスをはじめ、本公園を一望できるとともにHICityとの連携や賑わい創出の拠点となるエントランス等、合計4つのエントランスを設けています。

1 2 3 性格の異なる3つの草地広場

- 公園の中心に、芝生をメインとした3つの草地広場を連続して配置することで、空への空間的な広がりを感じることができます。

4 友だちの輪が広がる「あそびば」「たまりば」

- 公園の中心部は、乳児から大人までが一緒に楽しむことができる、“えん”が深まる屋外の「あそびば」と、半屋外の「たまりば（屋根付広場）」を配置します。
- 屋根付広場では、可動式遊具の導入により、天候に左右されない多様な遊びを提供します。

5 新たな出会いや様々な“えん”を生み出す、3つの「公募対象公園施設」

Café&Brewing【飲食店（製造体験）】 / Mecha Lab Haneda【ロボット学習体験施設】 / 駐車場

6 スポーツフィールド

- 誰でも参加でき、年齢や障がいの有無に係わらず、全ての人が楽しく体を動かすことができます。

7 8 地域とつながる2つの軸「花の輪」「時の路」

- 周囲とのつながりを育みながら地域としての回遊性を高め、賑わいを生み出す本公園のメイン動線です。

スケジュール

2025年	2026年	2027年	2028年	・・・	2048年
4月	1月	7月	1月	4月	3月
設計	整備	管理運営			

※今後の協議により変更となる可能性があります。

複合機能管理棟

【管理事務所、公園利用者交流・休憩スペース、イベント・展示スペース、トイレ、授乳室、更衣室・シャワー室、倉庫、サイクル・ランニングステーション、映像による情報発信】



交流・休憩スペース

授乳室

5 駐車場

- ・50台（うち2台は車椅子利用者用）、大型バス2台に加え、公募対象公園施設としての駐車場を30台計画しており、合計で80台の駐車ができます。
- ・カメラ式駐車場を採用することで出入庫時の渋滞の緩和や、接触事故の回避が可能となります。

4 あそびば

【大型複合遊具、水景施設、ゴムチップマウンド、どんぐりの山】

- ・「大型複合遊具」は、子どもたちが自分の成長を確認しながら遊具を選ぶことが可能で、**ふれあい、助け合い、挑戦**ができる遊具となっています。
- ・「水景施設」は、段差がなく車いすでもアクセス可能で、噴水に手を触れることができます。夜は大人も含めた多世代での夕涼みスポットとして公園を彩ります。



大型複合遊具



水景施設



ゴムチップマウンド

5 公募対象公園施設

◆Café&Brewing【飲食店舗（製造体験）】

- ・大田区産品を使ったメニュー提供を通して**大田区産品、大田区の魅力を発信**するとともに、ビールの醸造体験や専門学校との連携を通して、**産学連携の拠点の一つ**としても活用していきます。



クラフトビール



カフェメニュー

◆Mecha Lab Haneda【ロボット学習体験施設】

- ・シミュレーターやロボットを通して、自らの新たな興味を発見する等の**学習意欲向上**にもつながります。
- ・日本が誇るアニメ、ロボット、先端技術を凝縮したサービス展開により、訪日観光客と本公園を**つなげる“えん”**となります。



シミュレーター

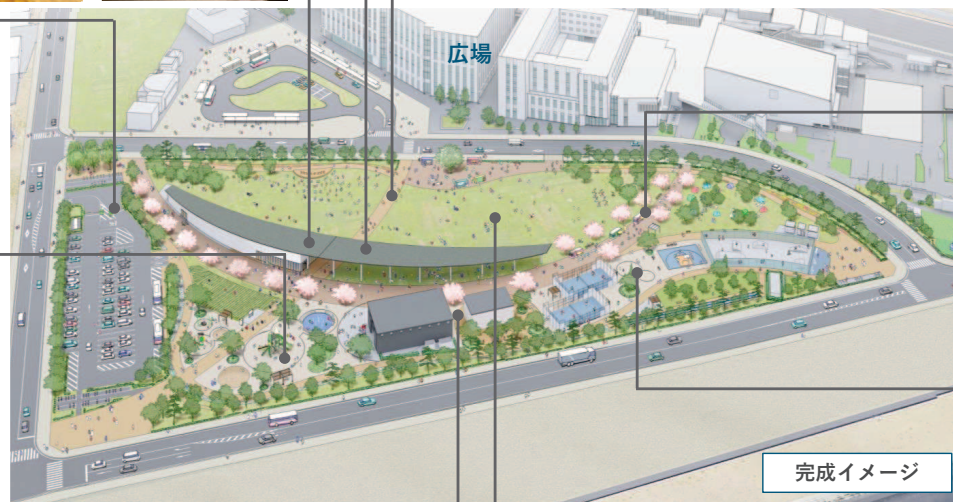


ロボット

4 たまりば（屋根付広場）

- ・地面はスポーツ向けの高密度人工芝となっており、普段使い、可動式遊具、イベント、スポーツなど幅広く利用することができます。
- ・**乳幼児が安全に遊べる場所**であるとともに、**天候に左右されことなく遊ぶ**ことができ、子育て世代の憩いの場所として、子どもだけでなく親同士がつながる場所にもなります。

8 時の路（みち）・羽田のまちとHICityの入口をつなぐ、古今の羽田をつなぎ合わせる動線となります。



完成イメージ

1 2 3 広場

【グリーンフィールド、のんびりはらっぱ、ふれあいはらっぱ、お祭り広場】

- ・「グリーンフィールド」はボール遊びやバドミントン等、日常から気軽に運動ができる禁止事項が少ない**アクティブなエリア**として、「のんびりはらっぱ」は芝生の上で寝転ぶ等の**のんびり静かに過ごすエリア**として、**アウトドア体験やニュースポーツを体験できるエリア**として利用することができます
- ・「お祭り広場」は本公園を一望することができ、HICityとの連携や賑わい創出の**メインステージ**となります。

7 花の輪（みち）

- ・畑が見られる風景やHICityからやってくる先端ロボットが顔を出し、利用者が羽田の昔・今・未来を体感できる路となります。

- ・本公園の**園内動線の骨格**として、全ての公園機能をつなぎ合わせ、歴史の原風景、新しい体験や遊び、人同士の交流を通じて新たな“えん”をつくりだします。

- ・最大で12mある道幅は、ロボット等の実証実験だけでなく、大道芸パフォーマンス等、大きな広場空間とは違った利用ができます。

6 スポーツフィールド

【パデルコート、スケートボードパーク、ダンス、3x3バスケットコート、ストレッチプラザ、50m直線レーン、多目的広場（人工芝）】

- ・誰でも参加でき、ここでしか体験できない多種多様なスポーツを配置し、**アクティブで多様なアーバンスポーツ体験**ができます。



スケートボードパーク



3x3バスケットコート



パデル

多目的広場
(例：モルック)

オープンスペース



ボール遊び



ピクニック

※今後の協議により変更となる可能性があります。 ※写真はイメージです。